



HONEY BEE

WX331K

取扱説明書

はじめに（安全上のご注意）

目次

ご使用になる前に

基本的な使いかた

文字の入力と設定

アドレス帳の使いかた

メールの使いかた

インターネットの使いかた

データフォルダの使いかた

音／バイブレータの設定

画面／照明の設定

スケジュールの使いかた

セキュリティ機能の設定

その他の便利な機能

赤外線通信の使いかた

データ通信の使いかた

ウィルコム各種サービス

ソフトウェアの更新

付録

● はじめに

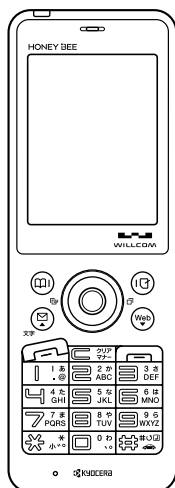
このたびは、「HONEY BEE (WX331K)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、このHONEY BEE「取扱説明書」および「かんたんマニュアル」を必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

● ご注意

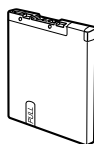
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

● 次のものがそろっているか確認してください

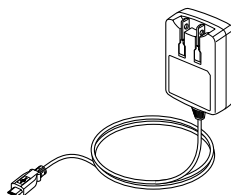
● 本体 (WX331K)



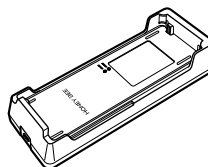
● リチウムイオンバッテリー (LD331K)



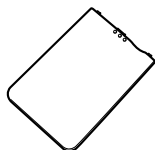
● ACアダプタ (AD330K)



● 卓上ホルダ (CH331K)

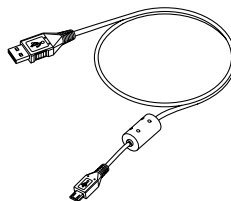


● バッテリーカバー



● USBケーブル

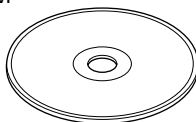
USB (A) オス - USB (Micro-B) オス



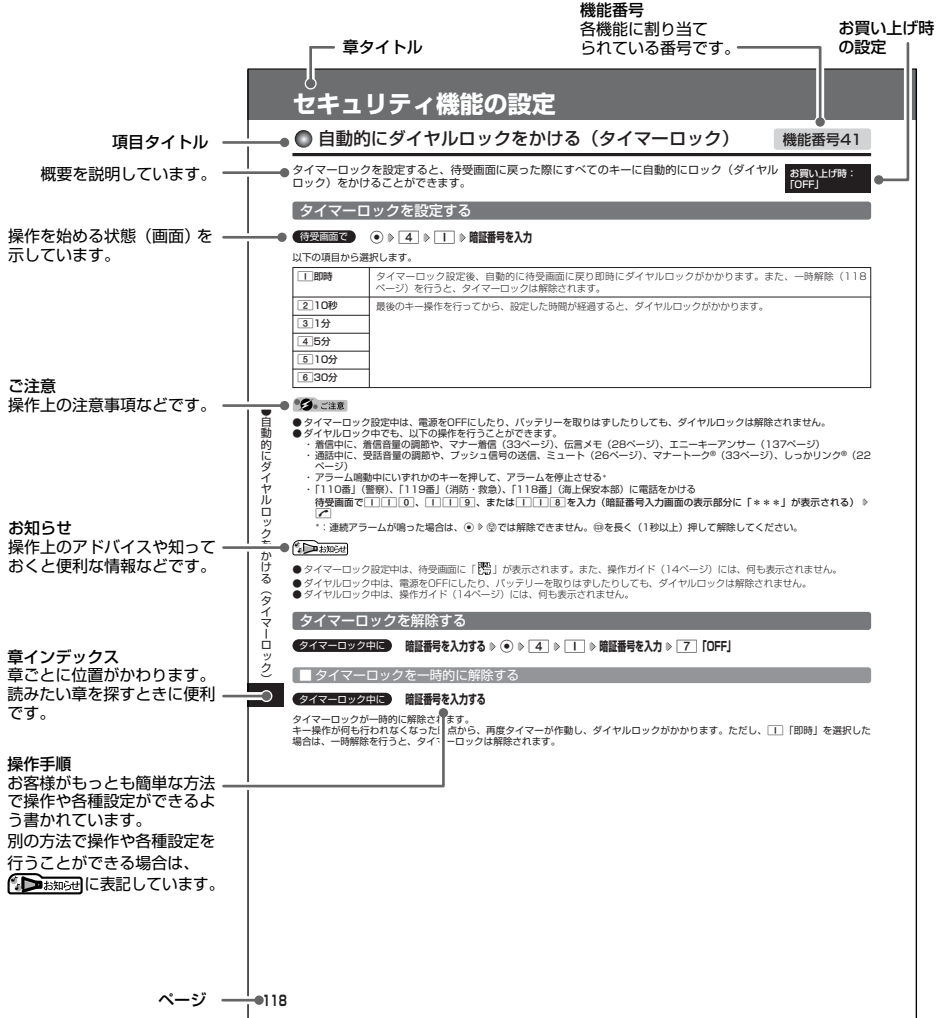
● 取扱説明書 (保証書) (本書)

● かんたんマニュアル

● CD-ROM



リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(160ページ)をご参照ください。



● この「HONEY BEE (WX331K)」 「取扱説明書」の本文中においては、「HONEY BEE (WX331K)」を「本機」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。




● キーの表記について
本書では、キーを省略して表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

● 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本機を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明


 危険	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害 ²⁾ を負う可能性が想定される内容や物的損害 ³⁾ の発生が想定される内容」を示しています。

¹⁾「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

²⁾「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

³⁾「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

行為を禁止する記号			
			
禁止	分解禁止	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
行為を指示する記号			
			
指示	電源プラグ		


■ 免責事項について


- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる随附的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。


本機／バッテリー／充電用機器共通


本機・バッテリー・充電用機器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項を守りください。


⚠ 危険


-  必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。
指示 HONEY BEE (WX331K) 周辺機器
・ ACアダプタ<AD330K>
・ バッテリー<LD331K>
・ 卓上ホルダ<CH331K>
・ USBケーブル


-  高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


-  引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電をしないでください。


-  火の中に投入したり、加熱しないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


-  加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れてください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。


-  導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、接続端子に接触させたり内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。

-  高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーをはずしてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

-  指定以外の電源電圧は使用しないでください。火災や感電などの原因となります。ACアダプタはAC100～240Vを使用し、海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

⚠ 警告

-  通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、濡れた手での使用はしないでください。感電や電子回路のショートの原因となります。



ぬれ手禁止



指示

水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。けがなどの原因となります。



禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、本機がバイブレータ設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。



禁止

外部から電源が供給されている状態の本機・バッテリー・充電用機器に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となります。

本機について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

危険



禁止

自動車・バイク・自転車などの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中のPHSの使用は危険なため法律で禁止されています。



禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、電源をお切りください。航空機内でのPHSの使用は法律で禁止されています。



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。

3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
 - ・病棟内では、PHSの電源を切る。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
 - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」{現電波環境協議会}）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行なわれ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。



指示

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）



指示

通話・メールなどするときには周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに本機の使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。本機の電源を切って、安全な場所へ移動してください。

警告



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



禁止

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合は水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因となります。

本機の落下や本機に無理な力がかかったことにより本機が破損し、または電話機内部が露出した場合、破損部および露出部に手を触れないでください。感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。




指示


心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。




禁止


赤外線ポートを目に向けて赤外線通信を行わないでください。視力障害を起こす原因となります。


 暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見てると、ごくまれに、筋肉のまじや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

 通常は平型イヤホンマイク端子カバー・USB端子カバー・バッテリーカバーなどをはめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートの原因となります。


注意

 ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがの原因となります。

 キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけたり、はさんだりしないでください。磁気データの消失の原因となります。

 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。


(使用箇所)
・ (使用材料)
・ (表面処理)
外装ケース (Front側)
・ PA樹脂 (ガラス繊維含有)
・ アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース (Rear側)
・ PC樹脂
・ アクリル系UV硬化塗装処理
ウィンドウパネル部
・ アクリル樹脂
・ 化学硬化処理
キーロックスイッチ
・ POM樹脂
・ —
フロントジョグキー、アドレス帳キー、マイオリジナルキー、メールキー、Webキー、発信・通話キー、電源・終了キー、クリア/マナーキー、ダイヤルキー
・ PC樹脂
・ アクリル系UV硬化塗装処理
ネジキャップ (背面)
・ PC樹脂
・ —
USB端子カバー/平型イヤホンマイク端子カバー
・ エラストマ樹脂
・ アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子
・ りん青銅
・ 金メッキ (下地: ニッケルパラジウム)
赤外線ポート窓部
・ PC樹脂
・ —
LED (着信ランプ)
・ アクリル樹脂
・ —


 耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。


バッテリーについて


共通の注意事項 (本機・バッテリー・充電用機器) についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。


危険


 バッテリーの (+) と (-) をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片 (ネックレスやヘアピンなど) などと接続端子が触れないようにしてください。バッテリーがショートし、過大な電流が流れ、破裂・発火・発熱の原因となります。


 バッテリーを本機に装着するときは、 (+) (-) を逆にしてしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。


 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

 直接ハンダ付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。


 漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。


警告


 内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明するおそれがあります。

 バッテリーを水やペットの尿などの液体で濡らさないでください。また、濡れたバッテリーは使用や充電をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。誤って水などに濡れた場合はそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

注意

 内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

 不要なバッテリーは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り絶縁してから、ウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなどにお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。

 バッテリーの取り付け/取りはずしの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。バッテリーまたはバッテリーカバーが破損するなどし、けがの原因となります。

充電用機器について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険



指示 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。バッテリーの液もれ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



指示 雷が鳴り出したらACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。



禁止 ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。発火・火災・感電・けがの原因となります。



電源プラグを抜く

充電時以外は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。



指示 ACアダプタの電源プラグはコンセントの根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。



水がしみ

水やベットの尿など液体がからまない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止 充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。



禁止 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。



禁止 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。



指示 ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。



指示 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

● 取扱上のご願い

本機／バッテリー／充電用機器共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、スポンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿はお避けください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 電源／充電端子、USB端子部をとときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき電源端子を变形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ペンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネットの接続中、メールなどの利用中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取りはずしてください。

本機について

- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。振り回したりをらししたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので取扱には十分ご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷付けないうようご注意ください。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話部（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本機内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

バッテリーについて

- 本機のバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
- バッテリーの「PULLタブ」を引っ張り、バッテリーのシールを剥がさないでください。
- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境でのご使用は、バッテリーが膨らんだり、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体からはずし、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。著しく膨らんだり、充電しても機能が回復しない場合は、寿命ですので、指定の新しいバッテリー (LD331K) をご購入ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。



Li-ion00

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずにウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなど、またはリサイクル協力店などにお持ちください。充電式バッテリーの収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントからはずしてください。
- 本機の充電端子、卓上ホルダの接続端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

著作権／肖像権について

- お客様が本機で録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむ目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者に無断でこれらの行為を行うと、「著作権侵害」「著作者人権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
- 録音したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

暗証番号について

お買い上げ時：
「1234」

●ご注意

- 暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されていますが、お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます (「暗証番号を変更する」123ページ)。
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書 (顔写真の入ったもの) をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。(預り修理・有償)

暗証番号

--	--	--	--

- 暗証番号は、セキュリティ (タイマーロック／着信拒否／操作ロック／シークレットモード／暗証番号変更／本体リセット、リモートロック)、全件削除、ソフトウェア更新等の機能をご利用いただく際に必要となります。
- リモートロックのパスワード (125ページ) は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4～8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書控え、または契約内容確認書類と身分証明 (写真の入ったもの) をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。(預り修理・有償)

暗証番号

--	--	--	--	--	--	--	--

● 携帯電話／PHS端末のリサイクルについて



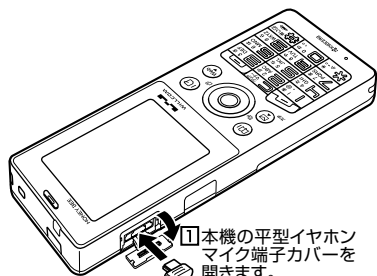
モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話PHSのマイクはご返却先へ

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電用機器をブランド／メーカーを問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

● ご注意

- 回収した電話機、バッテリー、充電用機器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

● 平型イヤホン（市販品）を使う



2 図のようにイヤホンのコネクタを平型イヤホンマイク端子部にしっかりと差し込みます。

● ご注意

- 平型イヤホンを平型イヤホンマイク端子部から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ご使用後は平型イヤホンマイク端子カバーをしっかりと閉じてください。水分やほこりが侵入すると故障の原因となります。

● 目次

はじめに	
次のものがそろっているか確認してください	
本書の読みかた	1
安全上のご注意	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
表示の説明	2
図記号の説明	2
免責事項について	2
本機 / バッテリー / 充電用機器共通	2
本機について	3
バッテリーについて	4
充電用機器について	5
取扱上のお願ひ	5
本機 / バッテリー / 充電用機器共通	5
本機について	5
バッテリーについて	6
充電用機器について	6
著作権 / 肖像権について	6
暗証番号について	6
携帯電話 / PHS端末のリサイクルについて	7
平型イヤホン (市販品) を使う	7
●ご使用になる前に	12
各部の名称と機能	12
ディスプレイの見かた	14
キー操作の基本	15
カーソルを動かして選択 / 確定する (フロントジョグキー / センターキー)	15
数字キーを使って項目を選択する (ダイヤルキー)	16
一つ前の画面に戻る / 操作を中止する (クリアキー / 電源・終話キー)	16
ページをめくる (ページアップキー / ページダウンキー)	16
ソフトキーの操作について	17
ご使用前の準備	17
バッテリーの充電について	17
充電する	18
卓上ホルダ (CH331K) を使って充電する	18
ACアダプタ (AD330K) を使って充電する	18
パソコンとUSBケーブルを使って充電する (USB充電) (機能番号71)	19
電源をON / OFFにする	20
時計を設定する (日時設定) (機能番号51)	20
自動時刻補正を行う (自動時刻補正) (機能番号52)	20
時計に日付を表示させる (ピクト時計) (機能番号53)	20
キーロックをかける	21
キーロックを解除する	21
●基本的な使いかた	22
電話をかける	22
電話番号を入力してかける	22
発信履歴 / 着信履歴から電話をかける (機能番号13)	23
発信履歴画面 / 着信履歴画面のメニューを使う	24
スピードダイヤルを使う	24
スピードダイヤルで電話をかける	24
スピードダイヤルでWebページにアクセスする	25
自分の電話番号を相手に通知する (発信者番号通知) (機能番号15)	25
国際電話をかける	25
本機から海外へかける場合	25
海外から日本国内の本機へかける場合	25
電話を受ける	26
通話中に保留する (ミュート)	26
通話中にブッシュ信号を送る	27
マイオリジナルを使う	27
音声メモ / 伝言メモを使う	28
通話中に相手の声を録音する (音声メモ)	28

電話に出られないときに応答して相手の声を録音する (伝言メモ)	28
伝言メモを設定 / 解除する (伝言メモ設定) (機能番号61)	28
伝言メモの応答メッセージを録音する (応答メッセージ録音) (機能番号62)	29
応答メッセージを設定する (応答メッセージ選択) (機能番号63)	29
応答時間を設定する (伝言メモ応答時間) (機能番号64)	29
音声メモや伝言メモを再生 / 削除する	29
マナーモードを設定 / 解除する (マナーモード)	30
モードを選択して設定する	30
オリジナルマナーを登録する (オリジナルマナー編集)	31
安全運転モードを設定 / 解除する (安全運転モード)	32
応答先を設定する (機能番号65)	32
小さな声で話せるように設定 / 解除する (マナートーク [®])	33
着信中に着信音をバイブレータに切り替える (マナー着信)	33
通話中に受話音量を調節する	33

●文字の入力と設定 34

文字を入力する	34
文字入力モードの切り替え	34
各キーに割り当てられた文字について	34
ダイヤルキーで入力する	35
漢字に変換する	35
文字入力メニューを使う	36
記号 / 定型文 / 絵文字 / 顔文字を入力する	36
文字をコピー / カット / 貼り付けする	37
定型文を編集する (定型文登録) (機能番号84)	37
顔文字を編集する (顔文字登録) (機能番号85)	38
よく使う単語を登録 / 編集 / 削除する (ユーザ辞書) (機能番号81)	38
予測変換を設定する (予測変換設定) (機能番号82)	39
学習情報を削除する (学習内容リセット) (機能番号83)	39
辞書データを登録 / 解除する (オプション辞書登録) (機能番号86)	39

●アドレス帳の使いかた 40

アドレス帳に登録する	40
アドレス帳の各項目を登録する	40
音声着信 / メール受信時の音とLED (着信ランプ) 色 を設定する	42
他の機能からアドレス帳に登録する	42
アドレス帳を呼び出す	43
表示方法について	43
1画面表示 / 1行表示 / 詳細画面のメニューを使う	44
アドレス帳を検索する	45
アドレス帳から発信する	45
アドレス帳の各種設定をする	46
グループを設定する	46
アドレス帳を呼び出すときの検索方法を設定する	46
アドレスカード (vCard形式) について	47
アドレス帳のデータ (vCard) を データフォルダへコピーする	47
Eメールにアドレス帳のデータ (vCard) を添付する	47
データフォルダのアドレスカード (vCard) を アドレス帳に登録する	47

●メールの使いかた	48	Operaブラウザについて	75
はじめてEメールを使うときは	48	表示モード	75
オンラインサインアップをする	48	Operaブラウザの基本操作	76
Eメール/ライトメールについて	49	Operaブラウザの起動と終了	76
Eメール(テキストメール/装飾メール)について	49	Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする	76
Eメール機能の仕様	49	Operaブラウザを終了する	76
ライトメールについて	49	Operaブラウザでの主なキー操作について	76
ライトメール機能の仕様	49	Operaブラウザの表示モードを切り替える	77
メールメニューについて	50	ダウンロードのしかた	77
Eメール(テキストメール/装飾メール)を作成して送信する	51	ブックマークについて	78
To(宛先)を入力する	52	表示中のWebページをブックマークに登録する	78
Sub(件名)を入力する	52	ブックマークに登録したWebページにアクセスする(ブックマーク一覧)	78
データを添付する	53	Webページ上の情報を利用する	79
メールの本文を入力する(テキストメール)	54	Opera(WEB)メニューについて	80
メールの本文を装飾する(装飾メール)	54	Operaブラウザのメニューについて	80
テンプレートを利用する	56	URLを入力または入力履歴からアクセスする	81
作成した装飾メールをテンプレートとして保存する	56	Webページ表示中のメニューについて	81
公式サイトからテンプレートをダウンロードする	56	Webページの画像やBGM、Webページ全体を保存する	82
テンプレートを読み込んで装飾メールを作成する	56	保存ページから表示する	82
Eメールをライトメールに切り替える	56	Webページから移動する	83
作成したEメールを送信待ち保存/下書き保存する	57	ブックマーク一覧について	84
下書きEメールを編集して送信する	57	ブックマーク一覧画面のメニューを使う	84
送信待ちEメールをまとめて送信する	57	ブックマークを編集する	85
ライトメールを作成して送信する	58	Operaブラウザの環境設定	86
アニメーション絵文字を入力する	58	Opera(WEB)メニューからの環境設定	86
ライトメールをEメールに切り替える	58	Webページ表示中の環境設定	88
作成したライトメールを下書き保存する	59	Webページの新着情報を確認する(RSSリーダー)	89
下書きライトメールを編集して送信する	59	ユーザー登録をする	89
メールを受信/返信/転送する	59	RSSフィードに登録する	89
受信したメールを読む	59	RSSリーダーを使う	90
メールを自動的に受信して読む	59	登録したRSSフィードのアイテムにアクセスする	90
受信BOXから受信したメールを読む	60	RSSフィード一覧画面のメニューを使う	91
サーバーにEメールがあるかどうかを確認する	61	RSSフィードの管理をする	91
添付ファイルを表示/再生/保存する	61	ダイヤルアップを設定する	92
受信したEメールに返信する	61	ダイヤルアップを設定/解除する(ダイヤルアップ設定)(機能番号93)	92
受信したライトメールに返信する	62	●データフォルダの使いかた	94
受信したEメールを転送する	62	データフォルダについて	94
受信したライトメールを転送する	62	データフォルダの構成	94
受信/送信/未送信メール詳細表示画面の差出人や宛先を利用する	62	保存できるデータの種類の	94
Eメールの差出人や宛先をアドレス帳に登録する	62	データを再生する	95
ライトメールの差出人や宛先を利用する	63	再生中の操作について	95
メール本文の電話番号/Eメールアドレス/URLを直接利用する	63	データ再生中のメニューを使う	96
●メールを管理する	64	画像データを編集する	97
受信BOX(フォルダ表示)画面のメニューを使う	64	画像データを交換する	97
受信メールを自動的にフォルダに振り分ける	65	データを登録する	98
振り分け設定をフォルダごとに削除する	65	データフォルダのメニューを使う	99
すべての振り分け設定を削除する	65	データを削除する	99
受信/送信/未送信BOX(メール一覧)画面のメニューを使う	66	●音/バイブレータの設定	100
受信/送信/未送信メール詳細画面のメニューを使う	67	音声着信の音/バイブレータを設定する(音声着信)(機能番号21)	100
メールを削除する	68	Eメール、ライトメールの受信音/バイブレータを設定する(Eメール/ライトメール受信)(機能番号22/23)	101
受信/送信/未送信BOX(メール一覧)画面から削除する	68	アラームの音量/バイブレータを設定する(アラーム)(機能番号24)	102
メール詳細画面から削除する	68	スケジュールアラームの音量/バイブレータを設定する(スケジュールアラーム)(機能番号25)	102
メールのデータをまとめて削除する	68	キーの操作音量を設定する(操作音)(機能番号26)	103
メールを保護する	68	データを再生するときの音量を設定する(データ再生とき)(機能番号27)	103
便利な設定を使う	69	電源を入れたときの音を設定/解除する(ウェイクアップトーン)(機能番号28)	103
接続先を設定する	70	圏外のとときの音を設定/解除する(圏外警告音)(機能番号29)	103
アカウントごとの各種設定をする	70	●インターネットの使いかた	74
一般プロバイダーのEメールを設定する	72	はじめてインターネットを使うときは	74
アカウントを設定する	72	オンラインサインアップをする	74
受信メールアカウントを切り替える	72	インターネット機能について	74
インターネット機能について	74	インターネットを使うための接続先を設定する	74
インターネットを使うための接続先を設定する	74	セキュリティ通信について	74
セキュリティ通信について	74	端末情報の通知	75
端末情報の通知	75		

●画面／照明の設定 104

ディスプレイを設定する(ディスプレイ) (機能番号31).....	104
時計やカレンダーの表示方法を設定する (時計カレンダー表示)(機能番号312).....	105
LED(着信ランプ)を設定する(LED設定) (機能番号32).....	105
電話を受けたときの名前の表示方法を 設定する(名前表示)(機能番号33).....	106
充電中の画面照明を設定する (充電時LCD)(機能番号34).....	106
ディスプレイの照明の明るさ/点灯時間を設定する (照明)(機能番号35).....	106
節電画面を設定する(節電画面)(機能番号36).....	107
表示する文字の大きさを設定する (文字サイズ)(機能番号37).....	107
画面の配色を設定する (配色設定)(機能番号38).....	107
メインメニューの表示を変更する.....	107

●スケジュールの使いかた 108

カレンダーを表示する.....	108
スケジュール/TODOの一覧を表示する.....	109
カレンダーのメニューを使う.....	110
表示色変更画面のメニューを使う.....	111
スケジュールを登録/編集/確認する.....	112
スケジュールの各項目を登録する.....	112
スケジュールの繰り返しを設定する.....	113
スケジュールアラームを設定する.....	113
スケジュールを確認する.....	114
スケジュールのメニューを使う.....	114
登録された電話番号/Eメールアドレス/ URLを利用する.....	114
TODOを登録/編集/確認する.....	115
TODOの各項目を登録する.....	115
TODOを確認する.....	116
TODOのメニューを使う.....	116
スケジュールカード(vCalendar形式) について.....	117
スケジュール/TODOのデータをスケジュール カードに変換してコピーする.....	117
スケジュールカードをスケジュール/TODOに 登録する.....	117

●セキュリティ機能の設定 118

自動的にダイヤルロックをかける(タイマーロック) (機能番号41).....	118
タイマーロックを設定する.....	118
タイマーロックを解除する.....	118
タイマーロックを一時的に解除する.....	118
着信拒否する電話番号を設定する (着信拒否)(機能番号42).....	119
各種機能の操作にロックをかける (操作ロック)(機能番号43).....	121
使用制限を設定/解除する.....	121
登録した電話番号以外に電話をかけられなくする (発信先一覧)(機能番号432).....	122
操作ロック中の一時解除について.....	122
シークレットモードを設定する (シークレットモード)(機能番号44).....	123
暗証番号を変更する(暗証番号変更) (機能番号45).....	123
登録内容や各機能の設定をリセットする (本体リセット)(機能番号46).....	124
遠隔操作で本機を他の人が使えないようにする (リモートロック)(機能番号47).....	125
リモートロックの事前設定をする.....	125
遠隔操作を許可する電話番号を登録する (着信番号一覧/ライトメール番号一覧) (機能番号472/474).....	126

リモートロックをかける.....	127
電話をかけてリモートロックをかける.....	127
ライトメールを送信してリモートロックをかける.....	127
リモートロックを解除する.....	128
電話をかけてリモートロックを解除する.....	128
ライトメールを送信してリモートロックを解除する.....	128

●その他の便利な機能 130

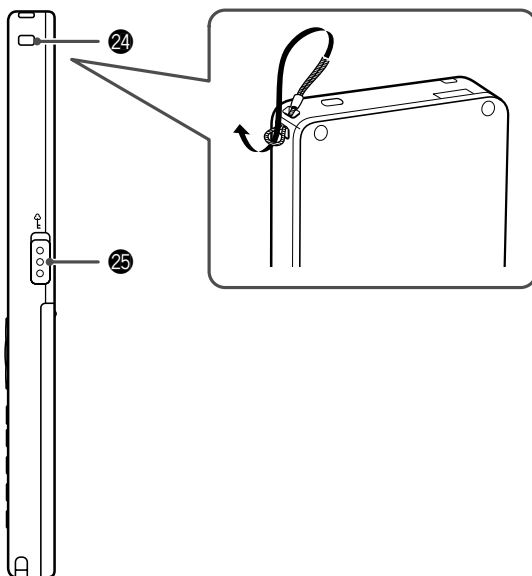
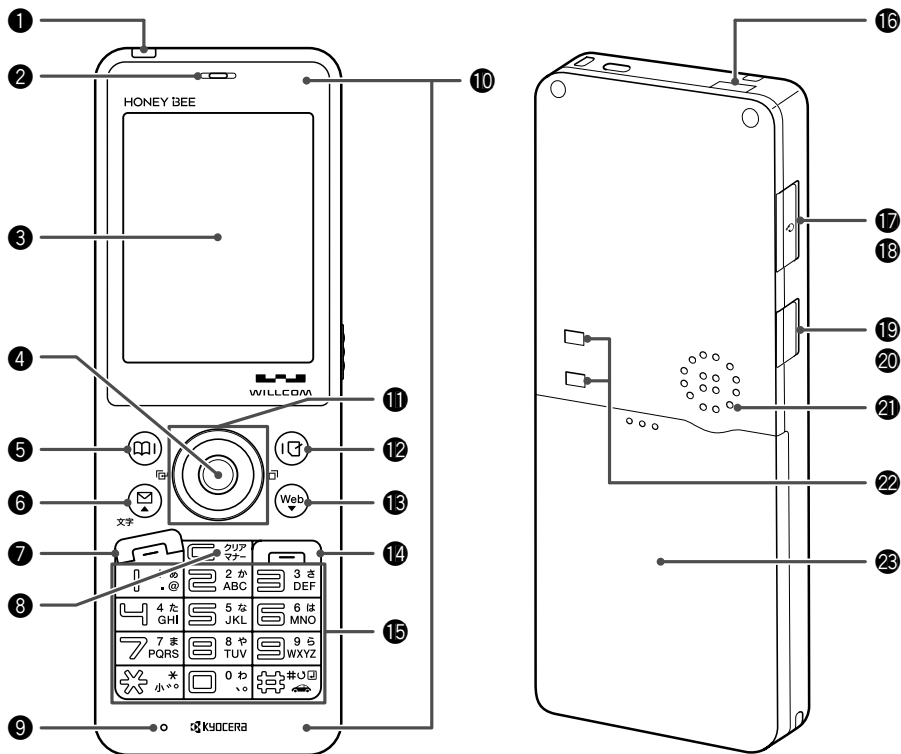
アラーム機能を使う(アラーム) (機能番号54).....	130
アラーム設定を登録/編集する.....	130
アラーム設定を削除する.....	131
アラームを止める.....	131
メモ帳を登録する.....	132
メモ帳を登録する.....	132
メモ帳のメニューを使う.....	132
メモ帳を表示する.....	132
ダイヤルメモを使う(ダイヤルメモ).....	133
ダイヤルメモを登録する.....	133
ダイヤルメモを呼び出して使う.....	133
待受中に音声を録音する(Myボイスメモ登録).....	134
通信中の電話の着信を設定する (通信中着信)(機能番号16).....	134
通信中のメール受信を設定する (通信中メール受信)(機能番号17).....	135
プロフィールを登録/確認する (プロフィール)(機能番号0).....	135
プロフィールの詳細を登録する.....	135
登録したプロフィールの詳細を確認する.....	136
プロフィール詳細表示画面のメニューを使う.....	136
通話時間を表示する.....	137
通話時間の合計を表示する(累積通話時間) (機能番号11).....	137
通話中に通話時間を表示させる (通話時間目安表示)(機能番号12).....	137
エニーキーアンサーを設定/解除する (エニーキーアンサー)(機能番号14).....	137
上下キーに機能を設定する (上下キー割り当て)(機能番号95).....	138
センターキーの長押しに機能を設定する (センターキー長押し割り当て)(機能番号96).....	138
電卓を使う(電卓).....	138
平型イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答)(機能番号18).....	139
平型イヤホンマイクの応答時間を設定する (イヤホン自動応答秒数)(機能番号19).....	139
現在の位置情報を通知する.....	140
L1機能を設定する(L1設定)(機能番号91).....	140
通知許可番号と通知許可パスワードを 登録する(機能番号913).....	140
通知許可番号と通知許可パスワードを編集/ 削除する.....	141
位置情報を通知する.....	141
相手から位置情報送込の要求があったとき 所在位置を登録する.....	141
所在位置のみ登録する.....	141
所在位置とステータスコードを登録する.....	141
国際ローミングを利用する(お申し込み必要) (国際ローミング)(機能番号94).....	142
ローミングモードに切り替える.....	142
ローミングモードで電話をかける.....	142
ローミングモードで電話を受ける.....	142
国際プリフィックス番号を簡単に付ける ローミング情報を登録する.....	143
ローミング情報登録(機能番号944).....	143
ローミング情報を削除する.....	143
各機能の情報を削除する.....	144
データのバックアップをする.....	144
データをバックアップする.....	144
バックアップデータをインポート (それぞれの機能に登録)する.....	145





●赤外線通信の使いかた	146
赤外線通信について	146
赤外線を受信する	147
データフォルダのデータを受信する	147
赤外線で送信する	148
データフォルダのデータを送信する	148
●データ通信の使いかた	150
データ通信の準備をする	150
データ通信について	150
64kPIAFSの通信方式を設定する (データ通信方式) (機能番号92)	152
本機とパソコンを接続する	152
USBモードを切り替える (USBモード) (機能番号72)	152
発信する	153
着信する	153
●ウィルコム各種サービス	154
留守番電話サービスについて (お申し込み必要) (機能番号10)	154
メッセージを確認する	154
メッセージを聞く	154
留守番電話サービスの設定を変更する	155
着信転送サービスについて (お申し込み不要)	155
料金分計サービスについて (お申し込み必要)	156
料金分計で電話をかける	156
国際ローミングについて (お申し込み必要)	156
●ソフトウェアの更新	158
最新のソフトウェアをダウンロードして使う (ソフトウェア更新) (機能番号971)	158
接続先URLを変更する (機能番号972)	158
●付録	160
主な仕様	160
バッテリーの交換	160
故障とお考えになる前に	161
アフターサービスについて	169
保証書について	169
修理を依頼されるときは	169
補修用性能部品について	169
アフターサービスについて	169
漢字コード一覧	170
機能一覧	183
各機能の選択項目一覧	187
索引	189
お問い合わせは	192

ご使用になる前に

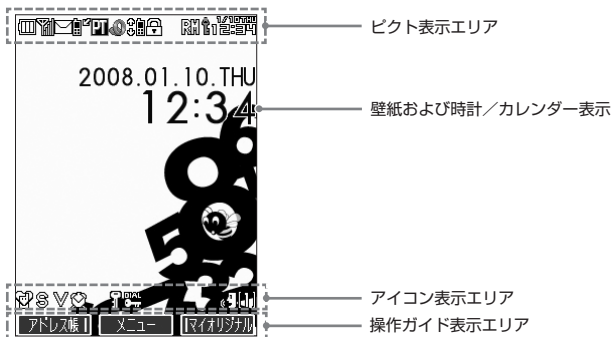
各部の名称と機能

各部の名称と機能



- ① LED (着信ランプ)
電話がかかってきたときなどに点滅します。また、充電中は赤く点灯し、充電が完了すると消灯します(18ページ)。
- ② イヤースピーカー (受話口)
通話中に相手の声が聞こえます。
- ③ ディスプレイ
(「ディスプレイの見かた」14ページ)
- ④ センターキー^①
各機能の登録や設定をするとき、また選択した項目を確定するときを押します。また、ディスプレイ中央下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑤ アドレス帳キー^②
アドレス帳を利用するときや、ディスプレイ左下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑥ メールキー^③
Eメールやライトメールを利用するときを押します。アドレス帳や発信履歴、プロフィール詳細画面表示中は、メール作成画面が表示されます。また、ページをめくるときを押します。
- ⑦ 発信・通話キー^④
電話をかけるときや受けるときを押します。
- ⑧ クリア/マナーキー^⑤
入力した文字を訂正するときや1つ前の操作に戻るときを押します。また、マナートーク[®]/マナーモードを設定するときを押します。
- ⑨ マイク (送話口)
通話中に自分の声を相手に伝えます。
- ⑩ アンテナ (内蔵)
-  ● ご注意
- アンテナは本体に内蔵されています。電波が弱い状態のときにアンテナ付近に触れると、電話がつかない、通話が途切れる、電話が切れることがありますので、アンテナ付近 (表面、裏面) を指などで覆わないでください。
- ⑪ フロントジョグ^⑥
画面上のカーソルを移動するときを押します。待受中は以下のように使用します。
- ・  は着信履歴を表示
 - ・  は発信履歴を表示
- ⑫ マイオリジナルキー^⑦
マイオリジナル一覧を表示するときや、ディスプレイ右下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑬ Webキー^⑧
Operaブラウザ (インターネット) を利用するときを押します。また、ページをめくるときを押します。
- ⑭ 電源・終話キー^⑨
電話を切るときを押します。また電源を入れるときや、機能の設定を終了するときを押します。
- ⑮ ダイヤルキー
電話番号や文字を入力するときを押します。
- ⑯ 赤外線ポート
赤外線通信を行うとき、データの送受信部になります(146ページ)。
- ⑰ 平型イヤホンマイク端子カバー
- ⑱ 平型イヤホンマイク端子部
平型イヤホンマイク (市販品) を使用するとき、この端子に接続します。
- ⑲ USB端子カバー
- ⑳ USB端子
USBケーブルでパソコンなどに接続します。
- ㉑ スピーカー
電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。また、音楽データもスピーカーから再生されます。
- ㉒ 充電端子
卓上ホルダを使って充電するとき、ここが接続部になります。
- ㉓ バッテリーカバー
- ㉔ ハンドストラップ取付部
- ㉕ キーロックスイッチ ^⑩
キーロックの設定/解除するときを使用します。

● ディスプレイの見かた



● ご注意

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

アイコンの説明		アイコンの解除操作
(バッテリー残量、充電中は点滅)	(ピンク) なし (要充電)	—*2
	小 (要充電)	—*2
	中	—*2
	十分	—*2
*1 (電波状態)		—*2
	圏外 微弱 ← → 強	—*2
未読のメールあり		未読メールをすべて既読にする
電話に出られなかった着信あり		待受画面で○を押す
通話中		☞を押す
(通信中表示)	パケット方式	—
	フレックスチェンジ方式	
	32kPIAFS	
	64kPIAFS (ベストエフォート型)	
	64kPIAFS (ギャランティ型)	
Operaブラウザ起動中		—
データ送受信中に点滅		—
フルスクリーンモード		—
スモールスクリーンモード		
ケータイモード		
SSL通信中		
自動位置情報送出处設定中		140ページ
ローミングモード設定中		142ページ
(ピンク)	キーロック中	21ページ
	(白) キーロック設定中 (キーロック中でない)	
時刻表示		—
	標準マナーモード	待受画面で☞を長く (1秒以上) 押す
	オリジナル1マナーモード	
	オリジナル2マナーモード	
	サイレントマナーモード	

アイコンの説明		アイコンの解除操作
	音声着信の音量「OFF」に設定中	100ページ
	バイブレータ設定中	100ページ
	アラーム設定中	131ページ
	シークレットモード設定中	123ページ
	タイマーロック設定中	118ページ
	伝言メモ設定中	28ページ
	音声／伝言メモあり	29ページ
	安全運転モード設定中	待受画面で[■]を長く（1秒以上）押す
	音声／伝言メモ1件あり	29ページ
	音声／伝言メモ2件あり	
	音声／伝言メモ3件あり	
	「(グレー) 自動更新」を「OFF」以外に設定したとき	90ページ
	「(オレンジ) 新着RSSアイテムを取得できたとき	
	「(赤と黒) 自動更新が失敗したとき	

*1: 分計発信時には、「」が水色に表示されます。

*2: アイコンを解除することはできません。

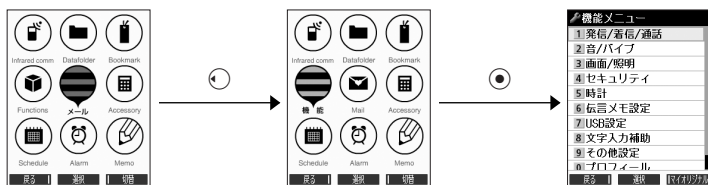
● キー操作の基本

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

カーソルを動かして選択／確定する（フロントジョグキー／センターキー）

本書内の表記	キーの操作	説明
または		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。 を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイドエリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「ソフトキーの操作について」17ページ）。

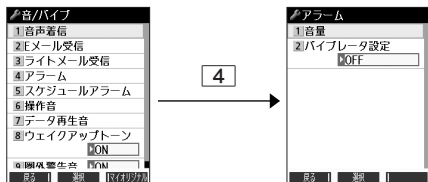
■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合



数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）

メニュー項目の左側に番号やアイコン（0～9、✕、⏏）が表示されているときは、（カーソルを合わせ⊙で選択する以外に）対応するダイヤルキーを押して選択／決定することができます。

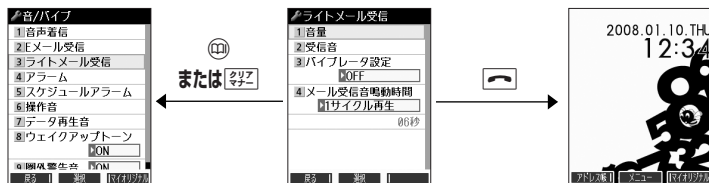
例：項目4を選択する場合



一つ前の画面に戻る／操作を中止する（クリアキー／電源・終話キー）

途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、Ⓜ【戻る】（操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合）またはⓂを押して前の画面に戻ることができます。

また、Ⓜを押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。Opera起動中の場合は、表示画面はそのままでもフライングになります。メールの一部画面では、表示している画面によりⓂを押した後に戻る画面が異なります。



ページをめくる（ページアップキー／ページダウンキー）




すべての項目が1画面で表示しきれない場合に、Ⓜ（ページアップキー）、Ⓜ（ページダウンキー）を使って画面単位で前／次の画面に切り替える（ページをめくる）ことができます。

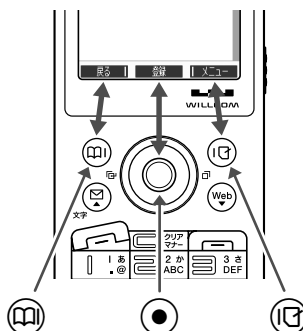
すべての項目が1画面に表示されているかどうかは、スクロールバーの状態を確認することができます。



ソフトキーの操作について

ディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示/実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明
	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で1つ前の画面に戻ります）。
	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を表示します（右図では【登録】で項目を確定します）。
	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【メニュー】でメニューを表示します）。



● ご使用前の準備

バッテリーの充電について

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用の充電用機器で充電してからご使用ください。

※バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」（160ページ）をご参照ください。

■ 充電時間とご利用可能時間

充電時間	約3時間	空のバッテリーを本機の電源を切った状態で専用の充電用機器を利用して充電したときにかかる時間
連続待受時間	約610時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	約7時間	通話を続けられる時間

● ● ● ご注意

- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など）では、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、電波の届きにくい場所（ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など）での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話/待受時間は半分以下になる場合があります。
- ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（アドレス帳操作/メール操作/Web操作など）が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- キー操作を長時間繰り返し行くと、バッテリーの消耗が早くなり、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態では放置しないでください。バッテリーが空の状態から充電されると、充電できなくなる場合があります。長期間使用しないときは、とどき充電をして空の状態を避けてください。空の状態から充電する場合は、卓上ホルダをご使用ください。
- バッテリーには寿命があります。充電をくり返すうちに膨らんだり利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて著しく膨らんだり、利用可能時間が半分程度になってきたら交換時期です。指定の新しいバッテリー（LD331K）をお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。



Li-ion00

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずにウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなど、またはリサイクル協力店などにお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会

TEL：03-3434-0261

ホームページ：<http://www.baj.or.jp>

充電する

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用の充電用機器で充電してからご使用ください。

● ご注意

● 18ページと19ページに記載している充電方法以外を利用した場合に発生した損害などについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

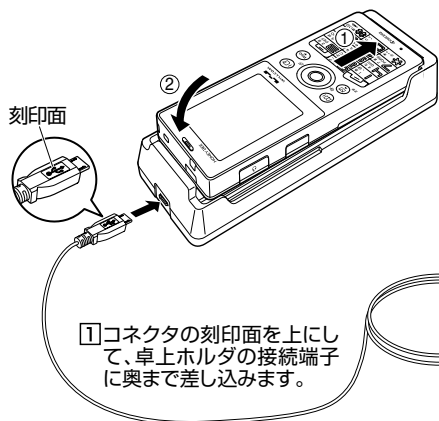
● お知らせ

● 充電中のディスプレイとLED（着信ランプ）表示は以下のとおりです。

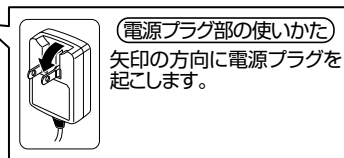
画面	充電中		充電完了	
	電源ON時	電源OFF時	電源ON時	電源OFF時
ディスプレイ	■の点滅	表示なし	■の点灯	表示なし
LED（着信ランプ）	赤点灯		消灯	

■ 卓上ホルダ（CH331K）を使って充電する

③ 図のように本機を卓上ホルダにカチッと音がするまで差し込みます。充電が開始されます。

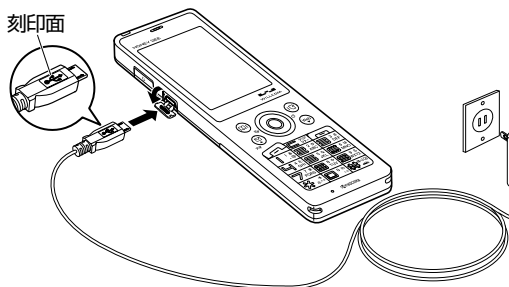


② 電源プラグ部を起し、家庭用AC100Vのコンセントに差し込みます。

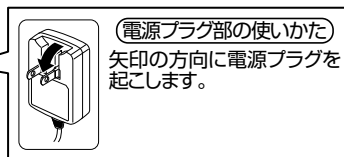


■ ACアダプタ（AD330K）を使って充電する

① 本機のUSB端子カバーを開き、コネクタの刻印面を上にしてUSB端子に奥まで差し込みます。



② 電源プラグ部を起し、家庭用AC100Vのコンセントに差し込みます。



●**ご注意**

- 充電の際、充電が完了していないにもかかわらず、LED（着信ランプ）が短時間で消灯したときは、本機をセットし直してください。それでも消灯したままの場合は、電源プラグを抜いてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターにご連絡ください。
- 充電が完了した後、本機を充電用機器から取りはずし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の充電端子、卓上ホルダの充電端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります（このとき充電端子を変形させないでください）。
- 金属製ストラップを使用している場合は、ACアダプタをコンセントから抜くときにストラップが触れないよう注意してください。また、ストラップの金属部分が卓上ホルダの充電端子部分に触れないよう注意してください。
- バッテリーおよびバッテリーカバーが確実に取り付けられているかご確認ください（「バッテリーの交換」160ページ）。

●**お知らせ**

- ACアダプタ（AD330K）を使って充電する場合、充電中のディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定によって常時ONにすることもできます（「充電中の画面照明を設定する」106ページ）。
- バッテリーの充電状態により赤色LED（着信ランプ）が点灯するまで時間が数分かかる場合があります。

■ パソコンとUSBケーブルを使って充電する（USB充電）

機能番号71

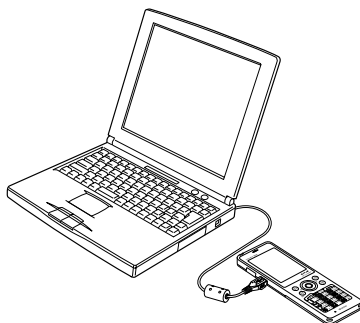
USBケーブルでパソコンと接続中に、充電することができます。

お買い上げ時：
「急速」

待受画面で   **7**  **1**

以下の項目から選択します。

1 OFF	USB充電を行いません。
2 通常	USB充電を行います。
3 急速	USB充電を、「通常」よりも短時間でを行います。

●**ご注意**

- USBケーブルで本機を充電するときは、直接パソコンに接続してください。
- 本機の電源をOFFにした状態で「USB充電」を「OFF」に設定している場合は、「通常」設定時と同様の充電を行います。

●**お知らせ**

- 同梱のUSBケーブルを接続すると、**3**「急速」で充電をした場合、充電時間は約3.5時間、**2**「通常」で充電した場合は約35時間です。ただし、接続するパソコンによって異なります。
- パソコンとUSBケーブルを使った充電は補助的な充電であり、充電用機器（卓上ホルダまたはACアダプタ）で充電した場合と同程度の充電はできません。

● 電源をON/OFFにする

電源をONにする	<p>を長く(2秒以上)押す</p> <p>電源がONになったことをお知らせする「ウェイクアップトーン」(103ページ)が鳴ります。電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。</p>
電源をOFFにする	<p>を長く(2秒以上)押す</p> <p>電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。</p>

お知らせ

- USBケーブルを接続した状態で電源をONにした場合は、「ウェイクアップトーン」(103ページ)は鳴動しません。ただし、「ピボ音」(USBケーブルを接続したときの確認音)が鳴動します(着信音が設定されているとき)。

● 時計を設定する(日時設定)

機能番号51

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、ライトメールの受信日時、Eメール/ライトメールの送信日時、スケジュール(スケジュール、TODO、カレンダー)などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時:
「2008年1月1日00:00」
(停止した状態)

待受画面で [確定]

ご注意

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
 - ・長時間お使用にならなかった場合
 - ・バッテリーをはずしていた場合
 - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
- 日時設定を行わないと、アラーム、スケジュールの機能を使用することができません。

お知らせ

- 入力できる日付は、2008年1月1日~2090年12月31日までです。
- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「時計カレンダー表示」(105ページ)で設定した方法で表示されます。

● 自動時刻補正を行う(自動時刻補正)

機能番号52

パケット通信開始時にネットワークから時刻を取得して、待受画面などに表示する日付と時刻の補正を行うかどうかを設定します。パケット通信を行うにはオンラインサインアップ(無料)が必要です。オンラインサインアップの詳細については、「オンラインサインアップをする」(48ページ)をご参照ください。

お買い上げ時:
「ON」

待受画面で [ON] または [OFF]

上記のとおり操作し、パケット通信を行った後に待受画面に戻ると時刻が補正されます。

お知らせ

- 時刻の補正は、日付に誤差がある場合、または時刻に約30秒以上の誤差がある場合、パケット通信終了後に行われます。
- お客様ご自身で日付と時刻を入力することもできます。「時計を設定する」20ページ。

● 時計に日付を表示させる(ピクト時計)

機能番号53

ピクト表示エリアの時計表示に、日付を表示させるかどうかを設定します。

待受画面で

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 日付+時間	日付と時間を表示します。
<input checked="" type="checkbox"/> 時間	時間のみを表示します。

お知らせ

- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「時計カレンダー表示」(105ページ)で設定した方法で表示されます。

お買い上げ時:
「日付+時間」

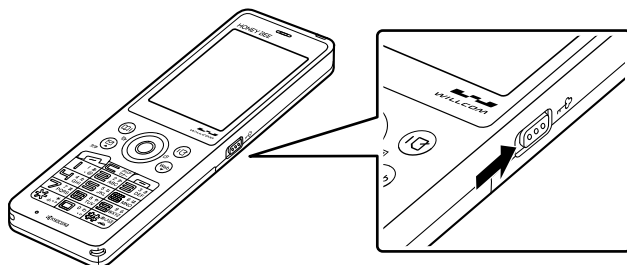
ピクト時計



● キーロックをかける

本機を鞆の中などに入れたとき、誤ってキーが押されないように、すべてのキーにロックをかけることができます。電話の着信は、キーロック中でも通常どおり受けることができます。

キーロックスイッチを下図のように上側にする










待受画面でキーロックを設定（キーロックスイッチを上側に）した場合、キーロック中（キーロックがかかった状態）となります。

● ご注意

- 待受画面以外でキーロックを設定（キーロックスイッチを上側に）した場合、待受画面に戻るまでキーロックはかかりません。
- キーロック中は、キー操作音（103ページ）の設定に関わらず、キー操作音は鳴りません。
- キーロック中は、「110番」（警察）、「119番」（消防・救急）、「118番」（海上保安本部）への発信もできなくなります。

● お知らせ

- キーロック中は、操作ガイド（14ページ）には何も表示されません。
- キーロックを設定すると、ディスプレイに以下のアイコンが表示されます。
 - ・ キーロック中：「」（ピンク）
 - ・ キーロック設定中：「」（白）
- キーロック中でも、以下の操作を行うことができます。
 - ・ 着信中に、着信音量を調節や、マナー着信（33ページ）、伝言メモ（28ページ）、エニーキーアンサー（137ページ）
 - ・ 通話中に、受話音量を調節（33ページ）や、プッシュ信号の送信（27ページ）、ミュート（26ページ）、マナートーク®（33ページ）、しゃかりんク®（22ページ）
 - ・ 「京セラPHSユーティリティソフトウェア」（145ページ）の使用
 - ・ アラーム鳴動中にいずれかのキーを押して、アラームを停止させる*
 - ・ 電源ON
 - *：連続アラームが鳴った場合は、   では解除できません。 を長く（1秒以上）押し解除してください。
- キーロック中にを押すと、ディスプレイの表示とバックライトとキーバックライトの点灯/消灯を行うことができます。

<キーロック中>



例：待受画面

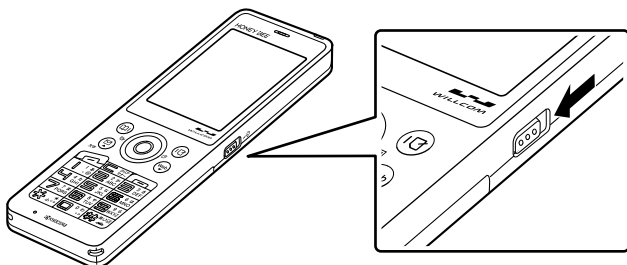
<キーロック設定中>
キーロック中でない



例：待受画面以外

キーロックを解除する

キーロック設定中に キーロックスイッチを下図のように下側にする



基本的な使いかた

● 電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で 電話番号を入力し、または【発信】▶ 通話が終わったら



● ご注意

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS/携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
 - ・電波が非常に弱い地域
 - ・いったん電話を切り、電波状態の良いところへ移動してから再度かけ直してください。
 - ・回線が混んでいる/相手が通話中
 - ・いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。

● お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ 入力を間違えたときはを押します。を押すごとに下1桁を削除します。
 - ・ 回線が混んでいる/相手が通話中、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
- 電話番号入力後、【メニュー】を押すと、以下の発信方法を選択して電話をかけることができます。

<input type="checkbox"/> 184発信	入力した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
<input type="checkbox"/> 186発信	入力した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
<input type="checkbox"/> 分計発信	入力した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて（お申し込み必要）」156ページ）。
<input type="checkbox"/> 184分計発信	入力した電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて（お申し込み必要）」156ページ）。
<input type="checkbox"/> 186分計発信	入力した電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて（お申し込み必要）」156ページ）。

- 相手がPHS/携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイドでお知らせします。
- 最初にを押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のSDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。

電話番号を入力▶▶サブアドレス（SDN独自の番号）▶

入力できるダイヤル桁数（電話番号++サブアドレスの桁数の合計）は32桁までです。
- 待受中または通話中に「」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。ただし、場所によっては電波状況が変わらないこともあります。通話中は、1回の通話につき3回まで起動できます。「」を起動するには、以下の手順で行います。

待受画面または通話中にを長く（1秒以上）押す

一度の通話時間が2時間を超える場合、2時間ごとに「」というお知らせ音が鳴ります。
- 通話中に【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。ただし、選択できる項目は通常の機能とは異なります。
 - ・機能
 - ・アドレス
 - ・データフォルダ
 - ・スケジュール
 - ・アクセスリ
 - ・メモ
- 通話中にバッテリー残量が不足すると、バッテリー残量警告音が鳴ります。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。
- 電話番号入力時にを長く（1秒以上）押すと「-（ハイフン）」を、を長く（1秒以上）押すと「P（ポーズ）」を入力することができます。
- 電話番号入力で「-（ハイフン）」または「P（ポーズ）」を入力する場合、以下の点にご注意ください。
 - ・電話番号が1桁も入力されていないときは、「-」や「P」は入力できません。
 - ・「-」や「P」を続けて入力することはできません。
 - ・「-」は電話番号の1桁分、「P」は2桁分入力したことになります。

以前にかけた相手の電話番号やかかってきた相手の電話番号は、それぞれ新しいものから30件まで記録されます。30件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴や着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択し、

例：発信履歴表示画面

ご注意

●シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されているアドレス帳の情報（名前／種別／画像）は表示されません（「シークレットモードを設定する」123ページ）。

お知らせ

●発信履歴／着信履歴を選択するときは、以下の手順で行います。

- : 新しい履歴順に表示します。
- : 古い履歴順に表示します。

●発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を表示するには、以下の手順でも行えます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「発信履歴」、 「着信履歴」、または 「不在着信履歴」

●発信履歴／着信履歴の詳細（発信履歴／着信履歴詳細表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。

発信履歴／着信履歴表示画面で履歴を選択し、 【表示】

- ・ 発信履歴／着信履歴の詳細表示画面
 - 1：履歴番号、未応答アイコン（着信履歴の場合）
 - 2：名前（アドレス帳に登録されているとき）
 - 3：電話番号または非通知理由（着信履歴の場合）
 - 4：発信／着信日時
 - 5：通話時間
 - 6：画像（アドレス帳に登録されているとき）

●発信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

分計：分計発信（分計発信（156ページ）した場合）

●分計発信した発信履歴から電話をかけるときは、分計発信を使用します。

●着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

不在着信（電話に出られなかった場合）

ワン切りの可能性あり（着信時間が3秒未満の不在着信があった場合）

着信拒否（着信拒否機能により着信を拒否した場合「着信拒否する電話番号を設定する」119ページ）

伝言メモあり（伝言メモ（28ページ）／安全運転モード（32ページ）で相手のメッセージを録音している場合）

●通話できなかった場合も記録されます。



発信履歴詳細表示画面



着信履歴詳細表示画面



●電話をかける

■ 発信履歴画面／着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した履歴画面により異なります。

<p>1 発信</p>	<p>■ 選択した電話番号に電話をかける場合</p> <p>▶ または 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合</p> <p>▶ 【メニュー】 ▶ 1 「184発信」、2 「186発信」、3 「分計発信」、4 「184分計発信」、または 5 「186分計発信」</p> <p>■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合</p> <p>▶ 電話番号を編集し、 または 【発信】 (特番を付加する場合は 【メニュー】 を押す)</p>
<p>2 アドレス帳へ登録</p>	<p>1 新規 選択した履歴の電話番号をアドレス帳に新規登録します (「アドレス帳に登録する」40ページ)。</p> <p>2 追加 (追加するアドレス帳の「名前」を入力し、 【検索】 ▶) *アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1〜3」から選択し、 【選択】 ▶ 【登録】 ▶ 1 「はい」</p> <p>*: アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定 (46ページ) で異なり、ここでは「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法 (お買い上げ時の設定) で説明しています。</p> <p>すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。</p>
<p>3 ライトメール作成</p>	<p>選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します (「ライトメールを作成して送信する」58ページ)。</p>
<p>4 表示切り替え</p>	<p>▶ 1 「1件」または 2 「一覧」</p> <p>履歴表示を「1件表示」と「一覧表示」に切り替えます。</p>
<p>5 発信先限定へ登録^{*1}</p>	<p>選択した電話番号を発信先限定の発信先一覧に登録します (「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」122ページ)。</p>
<p>6 着信拒否へ登録^{*2}</p>	<p>選択した電話番号を着信拒否の指定番号一覧に登録します (「着信拒否する電話番号を設定する」119ページ)。</p>
<p>7 削除</p>	<p>▶ 1 「1件」、2 「選択」、または 3 「全件」</p> <p>発信履歴／着信履歴を削除します (「各機能の情報を削除する」144ページ)。</p>

*1: 発信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

*2: 着信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

スピードダイヤルを使う

スピードダイヤルを使って素早く電話をかけたり、Webページにアクセスすることができます。

■ スピードダイヤルで電話をかける

アドレス帳のアドレス帳No.000～099に登録している電話番号へかける場合は、アドレス帳No.の下1桁または下2桁を入力し、 を押すだけで電話をかけることができます。

■ アドレス帳No.000～009の場合

待受画面で アドレス帳No.の下1桁 **0**～**9**を入力し、 または 【発信】

■ アドレス帳No.010～099の場合

待受画面で アドレス帳No.の下2桁 **1**～**9** (十の位) ▶ **0**～**9** (一の位)を入力し、 または 【発信】

ご注意

- 「スピードダイヤル」または「アドレス帳閲覧」に操作ロックを設定していると、暗証番号を入力する必要があります (「各種機能の操作にロックをかける」121ページ)。
- シークレット登録したアドレス帳No.へは、シークレットモード設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます (「シークレットモードを設定する」123ページ)。

お知らせ

- アドレス帳に登録されていないアドレス帳No.を入力しを押すと、「該当するデータがありません」と表示されます。
- 電話番号が複数登録されているときは、通常使用電話番号に電話をかけます。
- スピードダイヤルを使って、以下の操作を行うこともできます。
 - ・登録されているEメールアドレス宛のEメール作成画面を表示する
待受画面でアドレス帳No.を入力し、を押す
 - ・登録されている電話番号宛のライトメール作成画面を表示する
待受画面でアドレス帳No.を入力し、を長く (1秒以上) 押す

■ スピードダイヤルでWebページにアクセスする

ブックマークのブックマークNo.やCCコードを入力し、**(Web)**を押すだけで、Webページにアクセスすることができます。

■ スピードダイヤルを「ブックマーク」に設定*している場合

待受画面で **ブックマークNo.**を **[0]~[9][9]**から入力し、**(Web)**

■ スピードダイヤルを「CCコード」に設定*している場合

待受画面で **CCコードの番号をダイヤルキー**から入力し、**(Web)**

*：「スピードダイヤル」の設定方法については、「Operaブラウザの環境設定」(86ページ)をご参照ください。

🔍 ご注意

● 「スピードダイヤル」または「Opera」に操作ロックを設定していると、暗証番号を入力する必要があります(「各種機能の操作にロックをかける」121ページ)。

自分の電話番号を相手に通知する(発信者番号通知)

機能番号15

「発信者番号通知」を「ON」に設定すると、電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知します。パケット通信を行う場合は、「発信者番号通知」を「ON」に設定してください。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で **(ON)** または **(OFF)**

🔍 ご注意

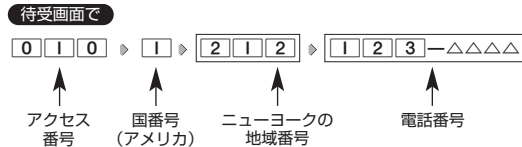
● PIAFS通信をする場合は、プロバイダーによっては「発信者番号通知」を**(OFF)**に設定する必要があります。

国際電話をかける

ウィルコム国際電話サービス(手続き不要)を利用して、世界約240の国と地域へかんたんなダイヤル方法で手軽に国際電話をかけることができます。

■ 本機から海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合



🔍 ご注意

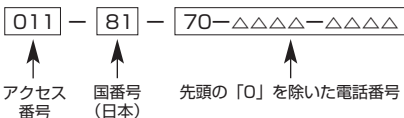
● 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(一部の国と地域を除く)。

🔍 お知らせ

- ウィルコム国際電話サービスについて
 - ・ 国際電話をご利用の際、ウィルコムへのお申し込みは不要です。
 - ・ 国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただいております。ご利用限度額を超過したと確認できた時点から、国際電話サービスをご利用(発信のみ)いただけません。超過時はライトメールでお知らせします。ご利用限度の設定変更および再開は、ウィルコムサービスセンターにお申し出ください。
 - ・ 国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
 - ・ 国際通話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
 - ・ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

■ 海外から日本国内の本機へかける場合

例：アメリカから本機「070-△△△△-△△△△」へかける場合



🔍 ご注意

● アクセス番号は、国によって異なります。

● 電話を受ける

着信中に  を押す

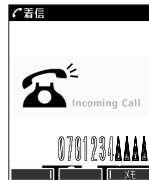
電話を受けることができます。
 エネキーアンサーを設定している場合は、**[0]**～**[9]**、**[*]**、**[#]**、**[M]**、**[C]**、**[D]**のいずれかのキーでも電話を受けることができます（「エネキーアンサーを設定／解除する」137ページ）。





 **ご注意**

- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- パケット通信中の電話の着信設定（134ページ）が「停止」の場合、パケット通信中は着信できません。

 **お知らせ**

- 着信中は、以下の操作を行うことができます。



	着信音量を調節します。
	着信音を停止させてバイブレータの振動に切り替えます（着信中に着信音をバイブレータに切り替える）33ページ）。
	着信音量を「OFF」にします。
	伝言メモで応答します（「電話に出られないときに応答して相手の声を録音する」28ページ）。

- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます（「着信転送サービスについて（お申し込み不要）」155ページ）。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 通話中に**[メニュー]**を押すと、以下のメニューが表示されます。ただし、選択できる項目は通常の機能とは異なります。
 - ・機能
 - ・アドレス
 - ・データフォルダ
 - ・スケジュール
 - ・アクセサリ
 - ・メモ
- 通話中にバッテリー残量が不足すると、バッテリー残量警告音が鳴ります。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。

通話中に保留する（ミュート）

通話中に相手に待っていただけます。保留中はお互いに相手の声が聞こえません。

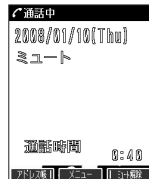
通話中に

1 **[ミュート]** を押す

相手には「少々お待ちください」の音声が繰り返されます。

2 通話できる状態になったら ▶ **[ミュート解除]**

相手と通話ができます。



●通話中にプッシュ信号を送る

“ピッポッパッ”というプッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用することができます。アドレス帳や発信履歴に登録したダイヤルをプッシュ信号で送出する際に、番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させることができます。

例：△△銀行のID番号「6666」、口座番号「9999」を送信する場合（この場合、アドレス帳の電話番号に「6666P9999」と登録しておきます）

△△銀行通話中に

1 [アドレス帳] ▶ アドレス帳を選択し、 [詳細表示] ▶ プッシュ番号に登録した項目を選択 ▶ [メニュー]

2 「一括送出」を押す

ID番号「6666」までを送信します。

3 を押す

口座番号「9999」を送信します。

ご注意

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、アドレス帳に登録しておく必要があります。
- 通話中にダイヤルメモに登録した場合、登録したダイヤルを画面に表示している間は、アドレス帳画面を表示させることができます。

お知らせ

- P（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
番号入力画面でP（ポーズ）を入力する前までの番号を入力 ▶ を長く（1秒以上）押し
入力した番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

●マイオリジナルを使う

よく使うメニューやデータなどをマイオリジナルに登録しておく、すばやく呼び出すことができます。マイオリジナルには以下の項目を20件まで登録できます。

- ・アドレス帳データ（44ページ）
- ・スケジュールデータと一覧（110、114ページ）
- ・TODOデータと一覧（110、116ページ）
- ・ブックマークのURL（84ページ）
- ・メモ帳の起動とデータ（132ページ）
- ・電卓の起動（138ページ）
- ・Myボイスメモ一覧（134ページ）
- ・音声／伝言メモ（29ページ）
- ・機能設定の設定項目（プロフィールを除く）
- ・Operaメニューと「設定」、「詳細設定」の各項目（80、86ページ）
- ・メールメニューの各項目（50ページ）
- ・ダイヤルメモ（133ページ）
- ・カレンダー（110ページ）
- ・データフォルダの各フォルダ（94ページ）
- ・データフォルダに保存されているファイル（99ページ）
- ・アラーム（130ページ）
- ・赤外線受信／赤外線送信（147、148ページ）
- ・バックアップ（144ページ）

お買い上げ時：
未登録

例：マイオリジナル
表示画面



待受画面で [マイオリジナル] ▶ 呼び出したい項目を選択し、 【選択】

お知らせ

- マイオリジナルに機能を登録するには、以下の操作を行います。
 - メニューから登録する場合
マイオリジナルに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 「マイオリジナルへ登録」を選択し、 【選択】 ▶ 登録したい行を選択し、 【選択】
 - 操作ガイド表示エリアに【マイオリジナル】と表示されている場合
マイオリジナルに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ 【マイオリジナル】 ▶ 登録したい行を選択し、 【選択】
- マイオリジナル表示画面で 【メニュー】を押すと、以下の操作を行えます。

1 順番変更	▶ 移動したい場所を選択し、 【選択】 選択したマイオリジナル項目の順番を変更します。
2 削除	▶ 1 「1件」、2 「選択」、または3 「全件」 マイオリジナルを削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。

● 音声メモ／伝言メモを使う

音声メモを使って通話中に相手の声を録音したり、伝言メモで電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の伝言を録音することができます。

録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード時に録音した相手のメッセージ（32ページ）と合わせて、3件まで録音できます。1件の録音時間は約30秒までです。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）


通話中に相手の声を録音します。

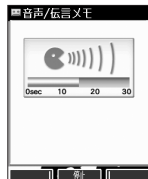
通話中に **○** ▶ **「メモ」** を選択し、**○** **【選択】** ▶ **2** **「音声／伝言メモ」** ▶ **1** **「音声メモ録音」** ▶
約30秒経過または **○** **【停止】** で録音終了

● ご注意

● 録音件数がすでに3件登録されている場合は、「録音件数に空きがありません」と表示され、録音はできません。

● お知らせ

- 音声メモが録音されているときは、待受画面に「」が表示されます。
- 録音できるのは相手の声だけです。自分の声は録音されません。



電話に出られないときに応答して相手の声を録音する（伝言メモ）

電話に出られないとき、自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。

● お知らせ

- ウィルコムで提供している留守番電話サービス（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」154ページ）とは異なります。
- 本機の伝言メモと、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本機の伝言メモ応答時間と留守番電話センター呼び出し時間で短く設定されている方が優先されます。伝言メモ応答時間を変更するには「応答時間を設定する」（29ページ）、留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」（155ページ）をご参照ください。
- 伝言メモの設定にかかわらず、着信中に以下の操作で応答メッセージが流れ、相手の伝言を録音できます。

着信中に **○** **【メモ】** を押す

録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直してください。」というメッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 伝言メモを設定／解除する（伝言メモ設定）



機能番号61

待受画面で **○** ▶ **6** ▶ **1** ▶ **1** **「ON」** または **2** **「OFF」**

● ご注意

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数がすでに3件登録されている場合は、応答メッセージが自動的に「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直してください。」に変わります。伝言メモ応答時に応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

● お知らせ

- 伝言メモを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- 伝言メモ録音動作中（応答メッセージ再生中や録音中）に、 を押すと、伝言メモ録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。
- 応答メッセージは、固定メッセージとオリジナルメッセージから選択することができます（「応答メッセージを設定する」29ページ）。

お買い上げ時：
「OFF」

伝言録音中画面



■ 伝言メモの応答メッセージを録音する（応答メッセージ録音）

機能番号62

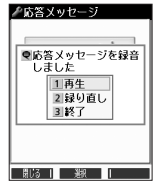
「応答メッセージ選択」（29ページ）で「オリジナル」を設定した場合に流れる応答メッセージを録音します。応答メッセージは1件、約15秒まで録音できます。

待受画面で **6** ▶ **2** ▶ 録音開始 ▶ 約15秒経過または **終了** ▶ 録音終了

確認画面が表示されます。
確認画面では以下の操作を行うことができます。

1 再生	録音した応答メッセージを再生します。
2 録り直し	応答メッセージを録音し直します。
3 終了	応答メッセージを保存します。

確認画面



お知らせ

● 上記手順の **2** 「応答メッセージ録音」を選択中に **メニュー** を押すと、以下の操作を行えます。

1 マイオリジナルへ登録	応答メッセージ録音画面をマイオリジナルへ登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
2 消去	▶ はい を押す 登録した応答メッセージを消去します。

■ 応答メッセージを設定する（応答メッセージ選択）

機能番号63

応答メッセージは、自分で録音するオリジナルメッセージと固定メッセージから選択できます。

お買い上げ時：
「固定メッセージ」

待受画面で **6** ▶ **3**

以下の項目から選択します。

1 固定メッセージ	「ただ今電話に出ることができません。ピーツと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
2 オリジナル	自分で録音した応答メッセージが流れます（「伝言メモの応答メッセージを録音する」29ページ）。

お知らせ

● 上記手順の **3** 「応答メッセージ選択」を選択中に **メニュー** を押すと、以下の操作を行えます。

1 マイオリジナルへ登録	応答メッセージの設定をマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
2 再生	選択した応答メッセージを再生します。

● 録音件数がすでに3件登録されている場合は、設定に関係なく「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直してください。」というメッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 応答時間を設定する（伝言メモ応答時間）

機能番号64

電話がかかってきてから伝言メモで応答を開始するまでの時間を設定します。応答時間は、「00秒」～「30秒」（1秒単位）の範囲で設定できます。

お買い上げ時：
「15秒」

待受画面で **6** ▶ **4** ▶ 伝言メモ応答時間（00秒～30秒）を入力し、 **確定**

■ 音声メモや伝言メモを再生／削除する

音声メモと伝言メモに録音された内容や、安全運転モード時に録音された相手のメッセージの内容を待受中や通話中に聞くことができます。

再生する	待受画面／通話中に 6 ▶ 「メモ」を選択し、 選択 ▶ 2 「音声／伝言メモ」 ▶ 2 「再生」
削除する	待受画面で 6 ▶ 「メモ」を選択し、 選択 ▶ 2 「音声／伝言メモ」 ▶ 3 「削除」 ▶ 1 「1件目」、 2 「2件目」、 3 「3件目」、または 4 「全件削除」* ▶ 1 「はい」

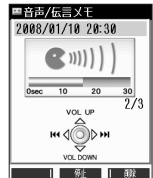
*：音声メモや伝言メモの録音件数によって、表示される項目が異なります。また、「全件削除」を選択した場合、暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

● 通話中に音声メモを再生すると、音声メモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。

● 再生中は、以下の操作を行うことができます。

- **音量** : 音量を調節できます。
- **前** : 前または次の音声メモ／伝言メモを選択します。再生するには **開始** を押します。
- **停止** : 再生が停止します。



● マナーモードを設定／解除する（マナーモード）

公共の場所で音を鳴らさないようにしたいときなどは、マナーモードにします。本機には4つのモードが用意されています。お買い上げ時は「マナーモード解除」に設定されており、初めてマナーモードを起動した場合は「標準マナーモード」が起動します。各マナーモード設定時に待受画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

お買い上げ時：
「マナーモード解除」

標準マナーモード	
サイレントマナーモード	
オリジナル1マナーモード	
オリジナル2マナーモード	

■ 設定する場合

待受画面で を長く（1秒以上）押す

前回選択したモードでマナーモードが設定されます。

■ 解除する場合

待受画面で **マナーモード設定中の状態で**、 を長く（1秒以上）押す



- マナーモードを設定した場合、確認のバイブレーションが約2秒間振動します。
- モードを選択して設定する場合は、「モードを選択して設定する」（30ページ）をご参照ください。
- マナーモードの解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面で（マナーモード設定中の状態で） ▶ **5** 「マナーモード解除」

モードを選択して設定する

待受画面で ▶ **1** 「標準マナー」、**2** 「サイレントマナー」、または **3** 「オリジナル1マナー」、**4** 「オリジナル2マナー」

マナーモード設定中は以下の設定になります。

機能		「標準マナー」	「サイレントマナー」	「オリジナル1マナー」	「オリジナル2マナー」
音声着信	音量	OFF	OFF	各マナーの設定によります（「オリジナルマナーを登録する」31ページ）。	
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
Eメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
ライトメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
アラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
スケジュールアラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
操作音		OFF	OFF		
データ再生音		OFF	OFF		
ウェイクアップトーン		OFF	OFF		
伝言メモ設定		ON	ON		
ライトメール送達確認音		OFF	OFF		



- マナーモード設定中でもモードを切り替えることができます。

オリジナルマナーを登録する (オリジナルマナー編集)

マナーモードの設定をお好みに合わせて変更し、オリジナルマナーとして2種類登録できます。

待受画面で

1 「オリジナル1マナー」または「オリジナル2マナー」を選択し、 【設定】

以下の項目から選択します。

1 音声着信	1 音量	  で音量を調節し、  【OK】 電話がかかってきたときの着信音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	 1 「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 電話がかかってきたときのバイブレーションを設定します。
2 Eメール受信	1 音量	  で音量を調節し、  【OK】 Eメールを受信したときの受信音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	 1 「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 Eメールを受信したときのバイブレーションを設定します。
3 ライトメール受信	1 音量	  で音量を調節し、  【OK】 ライトメールを受信したときの受信音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	 1 「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 ライトメールを受信したときのバイブレーションを設定します。
4 アラーム	1 音量	  で音量を調節し、  【OK】 アラーム鳴動時の音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	 1 「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 アラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
5 スケジュールアラーム	1 音量	  で音量を調節し、  【OK】 スケジュールアラーム鳴動時の音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	 1 「OFF」、またはパターンを選択し、  【選択】 スケジュールアラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
6 操作音	  で音量を調節し、  【OK】 キーを押したときの音量を設定します。	
7 データ再生音	  で音量を調節し、  【OK】 データフォルダのメロディなどを再生するときの音量を設定します。	
8 ウェイクアップトーン	 1 「ON」または  2 「OFF」 電源を入れたときの確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	
9 伝言メモ設定	 1 「ON」または  2 「OFF」 伝言メモ応答するかどうかの設定をします。	
0 ライトメール送達確認音	 1 「ON」または  2 「OFF」 ライトメールの送信成功時に確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	

2 【登録】を押す

 ご注意

●オリジナルマナー設定中は、選択されているマナーモードのみ各種設定を変更することができます。

● 安全運転モードを設定／解除する（安全運転モード）

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、メッセージを録音してもらうことができます。録音件数は、安全運転モード時の相手のメッセージ・伝言メモ（28ページ）・音声メモ（28ページ）と合わせて3件まで録音できます。メッセージの再生／削除方法は「音声メモや伝言メモを再生／削除する」（29ページ）をご参照ください。

■ 設定する場合

待受画面で **[#]**を長く（1秒以上）押す

■ 解除する場合

待受画面で **安全運転モード設定中の状態で、[#]**を長く（1秒以上）押す

● ご注意

- 安全運転モードを設定すると、伝言メモ設定は解除されます。
- 相手がメッセージを録音しているときは、**[#]**を押しても通話できません。

● お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「**[📞]**」と「**[📶]**」が表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、伝言メモの応答メッセージの設定にかかわらず、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただ今車を運転しています。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
伝言の録音ができないとき	「ただ今車を運転しています。後程おかけ直してください。」

- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは安全運転モードを設定する前の設定に戻ります。

応答先を設定する

機能番号65

安全運転モードの応答先を、本機（電話機応答）とウィルコム の留守番電話センター（ネットワーク応答）から設定することができます。

お買い上げ時：
「電話機応答」

待受画面で **[6]** ▶ **[5]**

以下の項目から選択します。

[1] 電話機応答	本機で応答し、相手のメッセージを本機に録音します。
[2] ネットワーク応答*	ウィルコム の留守番電話センターで応答し、相手のメッセージをウィルコム の留守番電話センターに録音します（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」154ページ）。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

*：メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」（154ページ）をご参照ください。

● 小さな声で話せるように設定／解除する（マナートーク®）

公共の場所や静かな場所で、まわりの方に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。マナートーク®中は小さな声でお話しても、相手には通常の声の大きさを伝わります。

通話中に  を長く（1秒以上）押す



- マナートーク®は、通話を終了したり電話を切ると解除されます。
- マナートーク®設定中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし、受話音量を最大にしているときは変わりません。

お買い上げ時：
「OFF」











● 着信中に着信音をバイブレータに切り替える（マナー着信）

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に  を長く（1秒以上）押す



- マナー着信に切り替えてから電話を受けるには、を押します。エニーキーアンサーを「ON」に設定している場合は、～、、、、、でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定／解除する」137ページ）。

● 通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」（最小）～「音量レベル5」（最大）の5段階に調節します。

通話中に  で音量を調節する

お買い上げ時：
「音量レベル3」



● 小さな声で話せるように設定／解除する（マナートーク®）
● 着信中に着信音をバイブレータに切り替える（マナー着信）